

☆学校評価アンケートを現在お願いしています。100%ご回答よろしく願います。

ふもと小学校だより

こだま いさお
文責：児玉伊左夫

児童のみんな、保護者・地域の皆さん、先生方にも伝えたい。そしてお聞きしたい。そんな思いをこめて。

冬のこだま便

(R1第12号)

令和2年2月18日(火)

ふもとマルシェを通して、何を学びどう次につないでいくのか。

1月25日(土)実施の「ふもとマルシェ」4年前の起業体験事業指定がきっかけで、商品開発・商品販売を目指す取組がスタートしました。

今年度も1年から6年までそれぞれがアイデアを膨らませ、何を作るか、どんな名前に、どう売るか、といろんな考えをめぐらしながら、4, 5, 6年生は、シテイモールに市場調査に出向き、市民の意向を反映して、商品を改良していきました。



起業体験活動は、「起業家を育成する」といったものではなく、その精神を培うものです。よって、この活動を4年間かかわってきた4, 5, 6年生に次のような精神がどのくらい身に付きつつあるか、考えてみてはどうか、と思っています。

①チャレンジ精神	新しいことを思い切ってやってみようとする気持ち
②創造性	新しいものを作り出そうとする心
③探究心	もっと知りたい学びたいという気持ち
④情報収集・分析力	ものごとの中身を集めて、整理してまとめる能力
⑤判断力	情報をもとに、どれがよいか、正しいかを定める力
⑥実行力	決まったことを行動にうつす力
⑦リーダーシップ	みんなの先頭に立ってひっぱる力
⑧コミュニケーション力	人の話を聞いて、けんかすることなく話し合う力

もし、これらの力が育てられていないとしたら、「マルシェに向かう一連の取組は有意義ではなかった」ということになります。

つまり、よくいう「活動あって学びなし」

そんな力が育っているのかどうか、そんな取組になっているのかどうか、いま、先生方ともそんな協議をしているところです。

それでも、あくまで全体像ですが、県学調や全国学調にみる学力は、高い位置で結果がでているのは確かです。一人一人の課題をしっかりと見つめて、学びの質を高めていくのは、わたしたち教師の使命だと思っています。

(保護者への呼びかけ)

- ① お子さんとメディア使用の時間やルールについて、話し合いましょう。
- ② お子さんに学校での学習の様子を尋ねましょう。
- ③ お子さんと読み聞かせや一緒に読書をする時間を作りましょう。

※1つでも実行できればいいですね。

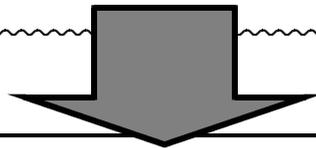
↑これは荒尾市教育委員会からの呼びかけです。

荒尾市においては、学力向上や小中の滑らかなつなぎの意味もこめて「あらおベーシック」という授業展開システムを全小中学校で実施しています。(前のふりかえり)→めあて→見通し→一人学び→学び合い→まとめ→ふりかえりの基本学習過程をそろえ、全員参加・思考・活躍ができるよう、子どもによる授業進行を採り入れたりしながら、教師の関わり方(めりはりのある指導方法)などを研究しています。

市教委による全学校アンケート結果を踏まえ、上記のような呼びかけが 있습니다。

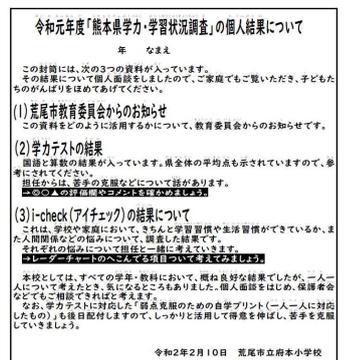
本校においても、「家庭学習の内容や量」にやや課題があります。メディアに浸りすぎないように、家庭での過ごし方について、共に考えていければと思います。

11月末に実施の「県学力・学習状況調査」の結果が届きました。個人票の配付も含め、しっかりと分析・対策を講じていきたいと思ひます。



この調査結果は、「個人面談」を行い、担任と一緒に、一人一人の課題を確かめ、その克服について考えていきました。この後は、「弱点克服のための復習プリント」などに取り組みます。なお「アイチェック」という学校や家庭生活の習慣や悩みを見つめる調査もありましたので、その点についても考えていったところです。

気になるところなど、2/28 学級懇談会等でもご相談ください。なお、本校の県学力調査結果は、どの学年・教科においてもおおむね良好な結果でした。



こんな封筒が届いたかと